

別表第2(第8条第3項関係)

教科及び教職に関する科目並びに履修方法

法学部、経済学部、経営学部、外国語学部、国際日本学部、人間科学部、理学部、工学部、建築学部、化学生命学部、情報学部

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			最低修得単位数
					必修	選択	自由	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	※授業科目は別に定める					中学校教諭一種免許状を受けようとする者は必修を含め38単位以上 (教科に関する専門的事項の修得単位数を除く)
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	教科教育法Ⅰ(社会)	2	×			
			教科教育法Ⅱ(社会)	2	×			
			教科教育法Ⅲ(社会)	3	×			
			教科教育法Ⅳ(社会)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(地理歴史)	3	×			
			教科教育法Ⅱ(地理歴史)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(公民)	3	×			
			教科教育法Ⅱ(公民)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(商業)	3	×			
			教科教育法Ⅱ(商業)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(情報)	3	×			
			教科教育法Ⅱ(情報)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(英語)	2	×			
			教科教育法Ⅱ(英語)	2	×			
			教科教育法Ⅲ(英語)	3	×			
			教科教育法Ⅳ(英語)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(中国語)	2・3	×			
			教科教育法Ⅱ(中国語)	2・3	×			
			教科教育法Ⅲ(中国語)	3	□	2		
			教科教育法Ⅳ(中国語)	3	□	2		
			教科教育法Ⅰ(国語)	2	×			
			教科教育法Ⅱ(国語)	2	×			
			教科教育法Ⅲ(国語)	3	×			
			教科教育法Ⅳ(国語)	3	×			
			教科教育法Ⅰ(保健体育)	2・3	×			
			教科教育法Ⅱ(保健体育)	2・3	×			
			教科教育法Ⅲ(保健体育)	3	□	2		
			教科教育法Ⅳ(保健体育)	3	□	2		
			教科教育法Ⅰ(数学)	2・3	×			
			教科教育法Ⅱ(数学)	2・3	×			
		教科教育法Ⅲ(数学)	3	×				
		教科教育法Ⅳ(数学)	3	×				
		教科教育法Ⅰ(理科)	2	×				
		教科教育法Ⅱ(理科)	2	×				
		教科教育法Ⅲ(理科)	3	×				
教科教育法Ⅳ(理科)	3	×						
教科教育法Ⅰ(工業)	3	×						
教科教育法Ⅱ(工業)	3	×						
							高等学校教諭一種免許状を受けようとする者は必修を含め30単位以上。 ただし、高等学校教諭一種免許状(英語、国語、数学及び理科)については34単位以上 (教科に関する専門的事項の修得単位数を除く)	

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	1	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育と社会	1	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	3	1			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	2			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2	□2			
		総合的な学習の時間の指導法（中学校）	総合的な学習の時間の指導論	3	1			
		総合的な探究の時間の指導法（高等学校）						
		特別活動の指導法	特別活動論	2	2			
		・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法とICT活用	2	2			
		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	2			
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	3	2			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 I	4	2			
			教育実習 II	4	□2			
			教育実習指導 I	3	1			
			教育実習指導 II	4	1			
		教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)	4	2			
第六欄	大学が独自に設定する科目	介護等体験指導		3		1		
		学校ボランティア演習 I		2		1		
		学校ボランティア演習 II		2		1		
		教育学演習 I		3		1		
		教育学演習 II		3		1		
		道徳教育論		2		2		
		書道 I		2		2		
		書道 II		2		2		

〔備考〕

- ×印は受けようとする免許教科ごとの必修科目、□印は中学校教諭免許状を受ける場合の必修科目。
- 教科教育法は、それぞれの学部（学科）における履修者を対象とする。  
 国語＝国際日本学部（日本文化学科）  
 社会＝法学部（法律学科、自治行政学科）、経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、経営学部（国際経営学科）、国際日本学部（歴史民俗学科）、人間科学部（人間科学科）  
 地理歴史＝経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、国際日本学部（歴史民俗学科）、人間科学部（人間科学科）  
 公民＝法学部（法律学科、自治行政学科）、経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、経営学部（国際経営学科）、人間科学部（人間科学科）  
 商業＝経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）  
 保健体育＝人間科学部（人間科学科）  
 数学＝理学部（理学科）、工学部（機械工学科、電気電子情報工学科、経営工学科）、情報学部（計算機科学科、システム数理学科）  
 理科＝理学部（理学科）、工学部（応用物理学科）、化学生命学部（応用化学科、生命機能学科）  
 工業＝工学部（機械工学科、経営工学科）、建築学部（建築学科）  
 英語＝外国語学部（英語英文学科）  
 中国語＝外国語学部（中国語学科）  
 情報＝工学部（電気電子情報工学科）、情報学部（計算機科学科、システム数理学科）
- 第六欄の「介護等体験指導」は、それぞれの学部（学科）の中学校教諭免許状を受ける場合の履修者を対象とする。
- 第六欄の「道徳教育論」は、それぞれの学部（学科）の高等学校教諭免許状を受ける場合の履修者を対象とする。
- 「書道 I」「書道 II」は、それぞれの学部（学科）の高等学校教諭免許状（国語）を受ける場合の履修者を対象とする。